

## 令和3年度 学校評価（自己評価・学校関係者評価）に係る評価項目（学校評価票）

\* A:よく当てはまる B:ほぼ当てはまる C:あまり当てはまらない D:まったく当てはまらない

分野（目標）	評価対象項目	自己評価		学校関係者評価項目	評価
1 学校運営全般	(1)教育目標や方針・重点目標等はわかりやすく適切である。	B	B	学校運営全般が適切に行われているか。	A
	(2)学校運営は適切に行われている。	B			
	(3)取り組むべき教育課題に対して改革・改善を進めている。	A			
2 当たり前のことが 当たり前出来る 生徒の育成	(1)生徒・保護者との「当たり前」の共有を図り、基本的な生活習慣（挨拶・服装・時間厳守等）の確立に関してきちんと指導している。	B	B	当たり前のことが当たり前出来る生徒の育成は行われているか。	B
	(2)わかる・できる授業を実践し、基礎学力の定着・向上を図っている。	B			
	(3)主体的・対話的で深い学びに繋がる授業の研究・実践を行い、教科指導力の向上を図っている。	A			
	(4)朝読書の活用等、読書活動を推進している。	A			
	(5)支援委員会の機能向上を図り、特別な支援が必要な生徒に適切な教育活動を行っている。	B			
	(6)多様な進路希望に対して、個に応じた指導を行っている。	A			
3 地域貢献の推進	(1)「総合的な学習（または探究）の時間」「遊佐の自然と文化」など地域の特色を生かした教育活動を進めている。	A	A	地域と連携した教育活動が展開され、地域貢献が行われているか。	A
	(2)インターンシップや企業開拓など進路実現に向けた連携を図っている。	A			
	(3)ボランティア活動の充実に努めている。	A			
	(4)かわら版やホームページ等により教育活動の理解につながる広報活動を行っている。	B			
	(5)教職員は、生徒・保護者・地域住民に対して誠意を持って接している。	B			
4 魅力ある学校づくりへの適切な対応	(1)魅力ある総合学科にする教育活動の実践と研究を行っている。	B	B	魅力ある総合学科に向けた取組みが適切に行われているか。	B
	(2)「産業社会と人間」の取り組みなどキャリア教育の充実に努め、1年次から進路目標の早期確立に努めている。	B			
	(3)学校の特色を踏まえ、学校設定科目の内容充実に努めている。	B			
	(4)1学級規模での特別活動の充実及び学校組織の整備を図っている。	B			

学校関係者評価委員の  
主な意見・要望等

- コロナ禍の中で1年間を通して授業だけでなく、部門別重点目標に向かって、教職員、生徒一丸となつての取り組み、大変ご苦労様でした。
- 令和3年度においても、“コロナ感染”対応では、表面的には変わらずなるのかな？
- 町全体をあげて、“遊佐高校支援”がつづきます。是非可能な限り、町民に周知して下さい。
- 遊佐高ソーラン部の復活を期待します。地域に元気を届けて下さい。部でなくても、愛好会でもいかがですか？遊佐地域づくり協議会での出番待ってます。
- 日々の誠実な取り組みに感謝いたします。庄内地区の子どもたちにとって、又地域住民にとって「駆け込み寺」の様な存在と感じています。教職員の皆様には不本意なこともあるかと思いますが、まさしく教育の原点を担っていらっしゃると思います。
- 今年度はコロナの影響もあり、様々な行事が中止を余儀なくされ先生方、生徒は大変な苦労があったと思います。そんな中でも県外生の受け入れ等、新たな試みを行い、それが遊佐町全体に良い刺激となっていると感じています。コロナ禍の中でもSDGsや資格の取得等、生徒達も目標を持ち学習を行っている様で安心しました。遊佐高校様だけではなく、我々大人も遊佐町をいかに盛り上げるか改めて考えていかなければならない時期にきていると思います。もちろん学業を主としながら、生徒達が挑戦したい事にチャレンジ出来るよう協力していきたいです。